

ぎやらりーわ



園芸コースの皆さんの花壇

NO. 106

2024年7月

編集・発行 NPO 法人グループわ (辻本 憲和) ホームページ <http://www.wa-net.jp/group-wa/>

〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番16号 神戸市シルバーカレッジ内 TEL078-743-8101 FAX078-743-3830

グループわ 第21回定期総会開催



グループわ 正会員 1,142 名、出席者 133 名、有効議決権行使および委任状 676 名、により定期総会は成立しました。

総会の議題は、令和 5 年度の事業報告・決算報告と令和 6 年度の役員選任および事業計画・予算、そして令和 7 年度からの年会費改定について審議、質疑応答を経てすべて原案通り可決・承認され、辻本新理事長をトップとする新役員体制がスタートしました。

式次第

- 1.開会 司会：水船春美さん
- 2.理事長あいさつ 桜間理事長
- 3.来賓あいさつ 前田 潔 氏
(神戸市シルバーカレッジ学長)
- 4.議長選出 議長：安部文隆さん
- 5.議案審議
 - 1号議案 令和5年度事業報告
 - 2号議案 令和5年度決算報告
および監査報告
 - 3号議案 令和6年度役員選任
・理事・監事
 - 4号議案 令和6年度事業計画
 - 5号議案 令和6年度事業予算
 - 6号議案 年会費改定
- 6.閉会

106号 特集：定期総会

グループわ 第21回定期総会開催……………	表紙
令和6年度新体制……………	2
令和6年度功労会員表彰・理事長表彰……………	2
新旧理事長あいさつ……………	3
新任理事の紹介……………	4
総会2部交歓会……………	5
部会活動紹介……………	6
カレッジだより・トピックス・わだより……………	7
Photo News	



ボランティアの
輪をひろげよう

令和6年度 新体制

【本部】			【区会長】		
理事長	辻本 憲和	(美工 25)	灘区会長	蛭田 武	(国際 24)
副理事長	片山 康	(園芸 26)	(東灘区会長兼務)		
副理事長	南木 正敏	(生環 27)	中央区会長	島ノ江 繁吉	(生環 18)
理事	橋本 みさ子	(美工 26)	兵庫区会長	小椋 宗二	(食文 21)
理事	竹内 順子	(食文 25)	北区会長	横山 謙一	(音文 24)
理事	大井 寿美子	(園芸 27)	長田区会長	浜田 哲夫	(生環 21)
理事	中塚 賢	(健福 27)	須磨区会長	梅田 孝一	(国際 21)
理事	山本 良枝	(生環 27)	垂水区会長	新 田中 弘一	(園芸 25)
理事	安井 智子	(音文 27)	西区会長	新 杉江 優祐	(健福 25)
理事 新	森下 利広	(生環 28)	【部会長】		
理事 新	永吉 郁子	(美工 28)	福祉部会長	笹埜 英明	(生環 25)
理事 新	小山 博	(国際 28)	国際部会長	中川 周平	(国際 20)
理事 新	小藪 孝明	(健康 28)	環境部会長	新 森山 俊邦	(生環 19)
理事* 新	杉江 優祐	(健福 25)	文化部会長	高木 博史	(園芸 23)
理事* 新	高野 晃久	(園芸 28)	いきがい部会長	新 高野 晃久	(園芸 28)
監事* 新	伊藤 満夫	(健福 25)			

※理事長及び副理事長は、定款第14条2の規定に基づき5月31日開催の臨時理事会で以上の通り選任されました。

注：()内はコース・期 *は非常勤

令和6年度 功労会員（個人・団体）表彰

表彰者		活動内容	コース・期
個人	1 塚本 桂三	有馬観光ガイドボランティアとして観光客へのマップ配布・道案内など、有馬温泉の地域活性化に寄与している。	園芸 10 期
	2 徳原 尚世	花山梅林会を発足し里山整備を行ったほか、電話相談、学校支援活動、一人暮らしの高齢者の見守り活動など多岐にわたるボランティア活動を行っている。	国際 9 期
団体	1 大正琴プリムラ	大正琴の演奏をととして、神戸市内 30 余りの高齢者施設への友愛訪問、小学校への学校支援、KSC 学園祭・地域交流会などのイベントに参加している。	文化部会

令和6年度 理事長表彰

表彰者		活動内容	所属部会
団体	1 救急ボランティア OB 会	救急インストラクターとして地域住民・中学生などに救急処置の普及を行っている。神戸市・グループわ の各種イベントで救急班として活動し、参加者の安全に務めている。	福祉部会

新旧理事長あいさつ

就任あいさつ 辻本 憲和（美工 25期）



このたび、グループわ 理事長に就任いたしました辻本と申します。

会員の皆さまには、日頃より各方面でのボランティア活動にご支援いただき、誠にありがとうございます。また、これまでグループわ を支えてくださいました関係者の皆さまにも心より感謝申し上げます。

私たちは、福祉・社会教育・健康づくりの支援、環境保全の啓発、国際協力、地域のまちづくり、生活文化の伝承などの事業を通じて、公益の増進に寄与することを目的に活動しています。今後、これらの活動については、一般の方々にも分かりやすい情報発信を心掛け、多くの方々に支援と希望を提供する活動を進めてまいります。

私どもは現在、非常に厳しい状況に直面しています。また、組織として神戸市内最大のNPO 組織の代表を引き継ぐということに際し、私自身、身の引き締まる思いであります。

昨年のビバハロウィン事故を教訓としてイベント事故再発防止の徹底、連続する赤字による会員の皆さまへの年会費値上げをお願いしていること、組織内の高齢化による区会・部会の役員の担い手不足の問題など、喫緊の課題が山積しています。

こうした状況を克服するため、会員の皆さまからのご意見やご協力を賜りながら、皆さまと共に力を合わせ、組織の活性化をはかり、より良い社会を築いていくために日々努力してまいります。

今回、私も含めて本部理事に選任されました新体制のこれからの活動にご期待いただくとともに、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。皆さまのご健康とご多幸をお祈りし、就任のご挨拶とさせていただきます。

退任あいさつ 桜間 茂（生環 24期）



私は 2023 年 6 月より 2024 年 5 月までの 1 年間、南前理事長のあとを受け、理事長を務めさせていただきました。

第 21 回定期総会の挨拶でも述べさせていただきましたが、2023 年 10 月 29 日に、しあわせの村「ビバ!ハロウィン」会場でステージ上の支柱が倒れ、小学生児童 1 人が負傷される事故が発生しました。負傷された児童およびご家族に心よりお詫び申し上げますとともに、グループわ 会員および関係者にご心配・ご迷惑をお掛けしたことに重ねてお詫び申し上げます。

本定期総会をもちまして、私は先ほど述べました事故の責任をとり理事長を退任いたしました。

従来からの懸案事項である、ボランティア活動における安全危機管理、財政再建、区会の活性化と多くの課題を抱えておりますが、新しい体制のもと、区会、部会およびグループわ 本部が協力し、連携強化を図り、この難局を乗り越えていきたいと祈念しております。

最後になりましたが、1 年間にわたりご支援、ご協力いただきました会員の皆さま、関係者の皆さま、サポートしていただきました全ての皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

新任理事の紹介

森下 利広 (総務担当 生環 28 期)

卒業するにあたり、漠然と「グループわでボランティア活動のサポートをしたい」と考え、自ら応募しました。いざ活動を始めると想像以上の活動内容で、さらに意欲が湧いてきたのを実感しています。精一杯活動する所存です。よろしくお願いいたします。



小藪 孝明 (学習支援・学校園担当 健康 28 期)
再入学をして 6 年間シルバーカレッジで楽しませていただきました。

もう家に引きこもろうか？と思いましたが、声をかけていただき、もう少し頑張ってみようかと思いました。

年々体力や能力が落ちていくのを実感していますが、ガンバります。



永吉 郁子 (財務担当 美工 28 期)

カレッジ卒業のことを漠然と考えていた頃、新理事のお誘いがあり、迷いましたが、できることがあるのであればとお引き受けしました。

グループわの活動が多岐にわたっていること、理事・会員の皆さんが意欲的に活動されていることに驚いています。建学の精神と共に先輩方のご指導を仰ぎ、頑張りますので、よろしくお願いいたします。



新任非常勤理事の紹介

杉江 優祐 (西区会長 健福 25 期)

区会からの非常勤理事として西区会が担当します。

今年度から西区会長に就任し、西区会の活動に注力する決意ですが、合わせてグループわの活動にも参画し、安全で楽しい地域貢献と親睦行事の実現に向け頑張ります。ご支援ご指導を、お願いいたします。ファイト！ファイト！



小山 博 (事業、学校園担当 国際 28 期)

ボランティア活動は、在学中に地域交流会で小学校、児童館等の行事のお手伝いをしてきました。グループわに着任して驚いたのは、会員の方が、幅広く活動していること、本部ではそれらのコーディネート、支援をしていることを知り、それらの業務をこれからやっていかなければならないことも知りました。



高野 晃久 (いきがい部会長 園芸 28 期)

KSC スポーツ吹矢クラブ代表の高野晃久です。全て順番で、いきがい部会代表、および非常勤理事を務めることとなりました。元々、グループわの活動に、不明でしたが、今後は、グループわの活動を皆さま方にも盛り上げていただけるようになればと思います。是非ともよろしくお願いいたします。申し上げます。



総会第 2 部交歓会 = 広げよう交流の輪 =

総会の第 2 部として午後 1 時 30 分からカレッジホールとふれあいホールで交歓会が行われました。

カレッジホールでは、昨年よりも 4 グループ多い 20 グループの参加がありました。各グループとも、コロナ禍が終わり施設へ訪問等の活動も徐々に再開された中、日頃の練習の成果を存分に発揮され、にぎやかで楽しい交歓会が開催されました。

ふれあいホールでは 7 つのグループが参加されました。第 1 部総会が予定よりも早く終了したため、ふれあいホールでの販売が一部で早まるというハプニングもありました。

ふれあいホール

ふれあいホール	KSC 茶道部同好会	野鳥写真展
クッキーの会	木工グループ	第 2 回グループわ 絵画展
さおり・たまも	救急ボランティア OB 会	グループわ 活動紹介

◆ KSC 茶道部同好会 ◆



お点前を楽しみながら、お抹茶とお菓子を味わいました。



ほっと、一息つける時間を楽しみました。



◆ 野鳥写真展 ◆



◆ クッキーの会 ◆

第 1 部が早く終わり、お客さんが待っておられたため、開店を早めていただきました。



◆ 木工グループ ◆



普段使用のできる日用品から、壁飾りまで力作が並んでいました。



◆ 第 2 回グループわ 絵画展 ◆



◆ さおり・たまも ◆

たまも園で作製した「さおり織」の素敵な作品が並んでいました。



◆ 救急ボランティア OB 会 ◆

行事には欠かせない存在です。いつも、見守りをありがとうございます。



部会活動の紹介 =文化部会その1 =

◆フォーキーズ 27 ◆

代表 角屋 洋光

フォークソングを中心に、演奏しながら歌うことを楽しんでいます。活動の場は、一つは演奏会の開催で、昨年11月に初めての演奏会、今年6月2日に2回目の演奏会を行いました。もう一つは施設訪問での演奏で、こちらは4月、5月、とこれまで2回の訪問演奏を行いました。どの活動に参加するかは、それぞれが自由に判断し、演奏会を主にする人、施設訪問を主にする人など、無理しないで参加できることを心掛けています。

演奏レベルはなかなか上達しませんが、オリジナルの歌はキーが高かったり、低かったりで、キーを合わせるところから一苦労です。何度やっても失敗ばかりですが、そのたびに笑いながらやっています。

高齢者施設訪問では、入所者がよく知っている曲を演奏し、一緒に歌っていただいたり、喜んでいただくと、こちらも嬉しくなります。演奏を聴いていただけることに感謝しながら、楽しく元気に演奏したいと思っています。

◆KSCマジッククラブ ◆

広報 大高 松男

マジッククラブは創部以来25年の歴史があります。不思議大好き人間55名が人を驚かすことを生きがいに活動しています。

「奇術は喜術なり」をモットーに、人を喜ばせて自分も大いに楽しむのです。月2回の例会（しあわせの村研修館）と有志



による市内施設の訪問ボランティアが定例活動です。訪問ボランティアは年間35回ほどです。練習だけでは物足りない人にとって、刺激の場として絶好です。例会以外の主な年間行事は、4月の定期総会と春の手品会、6月のロイヤルマジック、秋のマジックの祭典（OBと現役の合同）、しあわせの村内のボランティア催事などです。特にマジックの祭典は、1年間に例会等で習得した技の発表会であるためレベルの高いものが披露され、会場に会員外の観客も含めて150人ほどが集まり盛り上がります。マジックの楽しさは、うまく演技すると観客から驚きや拍手や歓声が上がることです。素人マジックは、たとえ失敗しても笑ってしまえば許してもらえるので気楽にできます。



最後になりますが、入会の門戸を開けていますので興味のある人は例会をのぞいてみてください。

◆KSCオカリナあまーびれ ◆

代表 野村 まり子

主に高齢者施設でのオカリナのボランティア演奏をしています。

懐メロや唱歌は一緒に歌っていただいたり、オカリナ演奏に合わせて簡単



な体操（口周りや手足）をしていただいたり、施設利用の皆さまにご参加いただくプログラムも用意しています。演奏を聴くだけでなく、ご参加いただくことで表情が明るくなり、楽しんでいただいています。

昨年から活動を始めましたが、今年度は新しい仲間も増えて、一層にぎやかに和気あいあいと、訪問演奏に向けて練習に励んでいます。



◆須磨トレモロクラブ ◆

前会長 國井 洋三

20年ほど前、須磨区民センターでハーモニカ講座を受けた受講生が社会貢献を目的にクラブを立ち上げ、その後シルバーカレッジのハーモニカ仲間と一緒にボランティア活動をしています。須磨トレモロクラブとして本格的に活動したきっかけは、神戸市シルバーカレッジ初代学長・今井鎮雄さんの「効率重視ではなく足りるを知る社会を知れ」「再び学んで他のために」の言葉でした。この言葉のもつ理念を理解し、月に3~4回ボランティア活動しながら腕を磨いてきました。



しかし、ボランティア活動とは言え個別に施設側と交渉するの限界を感じ、平成24年にNPO法人「グループわ」の文化部会へ「須磨トレモロクラブ」名で加盟しました。

ハーモニカは誰でも簡単に演奏できる楽器です。楽譜が読めない人でもさぐり吹きで演奏することもできます。

複音ハーモニカには、色んな奏法のテクニックから分散和音まであり、最初は簡単に演奏できても、ハーモニカの潜在機能を最大限引き出すには実に奥深い楽器です。息長く複音ハーモニカをやって見ようという人はどうぞ須磨トレモロクラブへご入会して下さい。

カレッジだより

◆ 第 29 回学園祭 ◆

10月12日(土)(雨天の場合は13日に順延)に令和6年度の学園祭を開催します。今年は、安全上の問題で規模を縮小しますが、一般の方にも公開して実施します。

◆ ジョイラックデー ◆

2025年1月15日(水)に実施します。昨年同様、地域の親睦を深める日にしたいと考えています。地域交流会とグループわの区会が共同で活動できることを期待しています。ご協力をお願いします。

わ だより

◆ 文化部会を開催しました。 ◆

6月12日に令和6年度の文化部会が行われました。

各グループの近況報告と今年度から始まった活動報告のWeb入力についての共通理解をはかりました。



◆ 共通授業でグループわの活動紹介をしました ◆

7月3日に31期生の共通授業でグループわの活動について説明し、ボランティアグループのパフォーマンスを披露しました。

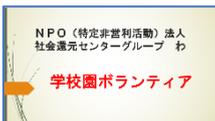
第1部では、グループわの歴史についてパワーポイントを使った説明を行いました。



第2部では、「すみれ(フォークダンス)」「わらい届け隊」「混声合唱団コーロKSC」の3つのグループが演技を披露しました。



第3部では、現在グループわが手掛けている「学校園ボランティア」「区会活動」「花実の森の活動」について説明をしました。



トピックス

◆ カレッジ PC 教室 ◆

7月24日、1学期のカレッジパソコン教室は6回の日程を終了しました。30人の枠に20人の応募があり、まずまずの滑り出しができました。2学期は9月から12月にかけて8回個別指導の教室を予定しています。



◆ カブトムシ観察会の開催 ◆

7月15日、5年ぶりとなる里山自然環境体験学習の一環「親子カブトムシ生育観察会」を、「花実の森プロジェクト」「里山グループ」のメンバーが整備・保全活動をしている、しあわせの村の里山で開催しました。

当日は、子ども18名、保護者17名が参加し、スタッフ26名が安全に配慮して運営しました。

子どもたちは「カブトムシの一生」を学んだ後、ヘルメットをかぶり2班に分かれて成虫さがしと観察をしました。カブトムシを見つけるたびに歓声があがり、カブトムシを手にした子どもたちの笑顔で私たちも元気をもらいました。自然を体感できた貴重な時間でした。



◆ 夏休み工作塾 ◆

8月3日(土)、夏休み工作塾を神戸市教育委員会、(公財)こうべ市民福祉振興協会の後援を受けて、しあわせの村研修館でグループわの自主事業として開催します。

募集はすでに終了していますが、午前・午後の2部制で各部100人の募集枠に大勢の応募があり抽選で決定させていただきました。



◆ 能登半島災害義援金 ◆

7月8日、大正琴プリムラさまより能登半島地震災害義援金として5,000円寄付いただきました。感謝申し上げます。

お預かりした義援金は、神戸市社会福祉協議会を通じて日本赤十字社から被災者支援に活用されることとなっています。

Photo News

総会第2部交歓会 =広げよう交流の輪=ステージ

